地域活動支援センター
農（あぐり）

（NPO 法人　のらんど）

１　施設の概要

定　員	地域活動支援センター　　１０人
所在地	さいたま市緑区大間木 716 三上ビル 101 https://nolandominuma.wixsite.com/mysit
アクセス	JR 京浜東北線　浦和駅バス 20 分 JR 武蔵野線　東浦和駅バス 10 分
連絡先	TEL：048-826-5770 FAX：048-826-5770 e-mail：zwr02003@nifty.ne.jp
開設日	平成 25 年 4 月 1 日

開所日時	月曜日～金曜日 9：00～15：30
平均年齢	平均：42.6 歳 最年少：22 歳 最年長：57 歳
送迎範囲	東浦和駅まで
食事提供	なし
入浴	なし
車いす	なし
医療的ケア	なし
その他設備	エレベーター　　なし ユニバーサルシート （大人用ベッド）　なし

２　施設の運営方針・理念

農（あぐり）はその文字のように「農業」を中心に仕事をするところです。

さいたま市は大きな町になりましたが、緑の場所・農地（畑や田んぼ）がたくさん残っています。野菜は畑を耕して作られます。住んでいるところから近いところでつくられた野菜はとりたてで、私たちのところへ届きます。私たちはとれたてのおいしい野菜を食べることができます。

私たちも農園で野菜を作っていますが、もっともっと広いはたけで野菜をつくっているさいたま市の農家さんたちの作った野菜を売ったり、仕事を手伝ったりもします。

野菜を作るということは自然の力を知ることでもあります。植えた種から芽が出ない、虫にたべられてしまう、雑草が抜いても抜いても生えてくる、思い通りに野菜は育ってくれません。それでも毎日農園で仕事をします。

そして農園の中で、街の中でたくさんのひとたちと出会うことをめざしています。

わたしたちといっしょにまちと畑をつなぐ仕事をしませんか。

３　事業内容の紹介

農（あぐり）では、四季の移り変わりを感じながら、畑での野菜作りや作った野菜の販売・加工、また、近くの農家から委託された仕事をしています。畑では季節ごとにいろいろな野菜を栽培しています。作業は、たい肥入れ、耕うん、種まき、苗の植え付け、水やり、収穫、野菜をきれいにして袋詰めすることなど、さまざまです。

畑作業をしたことがない人でも心配することはなく、必ずできることがあります。経験豊富なやさしい先輩たちがいるので、心配はいりません。農（あぐり）の人たちも、まったく畑作業をしたことがないという人がほとんどでしたが、今では頼もしい存在となっています。

販売は、月曜日にはお得意先へパック野菜の配達と引き売り、水曜日はピアショップ、金曜日には北浦和の商店街にあるお店で販売しています。他にも、イベントで販売したりしています。それぞれの販売先では常連さんができるほどです。また、販売する際に必要な接客技術やマナーも、実際の場で役立つように勉強をしています。そのほかにレストランなどに野菜を納品しています。

季節によってさまざまな仕事を楽しめるのも農（あぐり）だからできることです。

４　事業の紹介写真

～農（あぐり）作業風景～

収穫する野菜を作ります。

種を播くため、草取りをします。取った草を一輪車に乗せて、たい肥置き場へもっていきます。その後に、耕運機をかけて畑を耕します。

季節の野菜の種をまいたり、苗を植えたりします。

販売用に野菜の収穫もします。力がいる作業もありますが、みんなで分担してやっています。

畑の野菜の成長のじゃまにならないように、草取りをしたりします。これは、とても大切な仕事です。

冬にやることが多いですが、販売などに出せるようにネギの皮むきをします。

毎年11月下旬頃からクワイの皮むきをします。これは、近くの農家さんから仕事を受けています。

加工品として、切干大根を作ります。

ずいき(八頭の茎)や大根などの季節には、乾燥させて、袋詰めをします。

季節ごとに農園にある花や草木で染物をします。

月・水・金曜日は販売をしています。販売場所はそれぞれ違います。

※写真は水曜日の販売の様子です。

５　施設の年間の行事

4月：お花見
（見沼田んぼ福祉農園）
農園の桜はきれいです。

5月の第3週水・木：かっぽフェスタ
（埼玉県庁みどりの広場）に出店
埼玉県内の施設が集まり販売します。

8月：暑気払い
夏休みに入る前に、みんなで納会です。

10月：運動会
（障害者交流センター）
さいたま市内の事業所と一緒に運動会をやります。クッキーハンター（パン食い競争のクッキー版）やリレー、玉入れなどに出場します。

12月下旬：クリスマス会
電車やバスを使って、少し遠くのレストランまで行きます。好きなものを選んで注文します。クリスマスも近いので、スイーツを頼む人もいます。

機会講習会：年1回
農園で使う機会について勉強会をやります。普段、使っている人も安全に使えるようにエンジンのかけ方などを、もう一度おさらいします。

調理、お出かけ、お楽しみなど：随時
農園の野菜を使って調理したり、近くの飲食店などに食べに行ったり、ゲームをしたりします。

６　施設の自慢・特色

とても広い畑で仕事ができます。畑に来た人は、その広さに驚きます。
農園の中には、桜の木が何本かあり、春になるときれいに咲きます。

販売に出したり、お店で売ったりしてもらっています。
毎年、自分たちの作ったネギを販売に出せるように手作業で出荷作業をします。

作った野菜を調理して食べることができます。
野菜を売るには、売っている人たちがどんな味がするのか知っていないと、すすめられません。

近くの農家の人たちとのつながりも大切にしています。農家さんの野菜を仕入れて販売したり、仕事を手伝ったり、技術を教わったりしもします。

はたらく　あじわう　笑いあう！！
それぞれの「はたらき」があって　みんなで野菜をあじわって
みんなで笑いあいましょう！！